
地域とともにある朝顔コンクール

松山市教育委員会事務局地域学習振興課

1 歴史ある浮穴地区朝顔コンクール

浮穴地区で毎年行っている朝顔コンクールは、今年度、めでたく還暦の 60 回を迎えた。朝顔コンクールとは、朝顔の出来栄を競い合うコンクールである。花の色や大きさ、花の数、ツルの伸ばし方など各々が工夫を凝らし、丹精込めて育てた朝顔を持ち寄り、来場者が各賞一票を投じることによって入賞者が決定される。

朝顔コンクールは戦後、青年団が母体となった花いっぱい運動から始まったと言われている。昭和 37 年の第一回から始まり、今年度まで継続して行っているうちに、地区の花が朝顔になり、地区のスローガンは「水と緑・花いっぱいの浮穴づくり」となった。朝顔コンクールは、浮穴地区に根付き、愛されている伝統行事である。

2 還暦まで成長を続けられた理由

なぜ、朝顔コンクールがこれほど地域に愛され、継続できているのか。地域役員の声を紹介する。

【誰でも一粒の種からスタート】

朝顔コンクールに出展する朝顔は、年度当初に公民館から各世帯に配付している朝顔の種を用いて育てたものである。そのため、種の良し悪しなどは関係なく、全ては育てる人の腕次第であるため、誰もが公平な条件である。また、朝顔を育てるというシンプルな取組で、老若男女問わず誰でも参加できるという点が、親しみ深さにつながっている。

【朝顔コンクールを通して朝顔に愛着がわく】

5 月中旬から種をまき、朝顔コンクールが開催される 8 月まで長期にわたり愛情を注いで朝顔を育てるため、自然と朝顔に愛着がわく。その大切な朝顔を出展する朝顔コンクールは、言わば自慢の朝顔の晴れ舞台である。また、ただ咲かせるだけではなく、花やツルの見栄えなど工夫の仕方が無限大にあるので、その自由度の高さも魅力の一つだ。

【朝顔コンクールを通して共通の話題が生まれる】

朝顔コンクールが近づくと、地域では「今年の朝顔の咲き具合はどう？」「こうしたら上手に咲くのでやってみて。」など朝顔についての話題が聞こえてくる。朝顔を通じて世代関係なく共通の話題が生まれ、地域住民の仲が深まっている。地域住民間の交流が希薄化している現代において、朝顔コンクールは重要な役割を果たしている。

3 おわりに

朝顔コンクールが続く三つの理由を紹介したが、それらに加えて「地域の愛情によって支えられているから」と考えている。それは、こんなエピソードからも伺える。

昨年度、役員から次のような声が上がった。「早朝から来てくれている参加者たちに何かしてあげられないだろうか。」そこで、朝ごはん代わりにおにぎりを作って配付した。

毎年同じであった参加賞も今年度は変更を行い、還暦記念の記念品も配付した。事前準備、当日運営に関しても、各々が積極的に行動し、地域住民が率先して事業に取り組んだ。

地域住民主導で、本気で朝顔コンクールを愛し、常に意見を出し合い、変化を続けながら事業を行っているからこそ、朝顔コンクールは還暦を迎えることができたと思う。まさに、朝顔の花言葉「愛情」によって支えられている。60回も地域で守りつないできたこの歴史ある朝顔コンクールを、これからも100回、200回とバトンを絶やさずつなげていきたい。



【写真① 朝顔コンクール受賞鉢】



【写真② 朝顔コンクール受賞者】